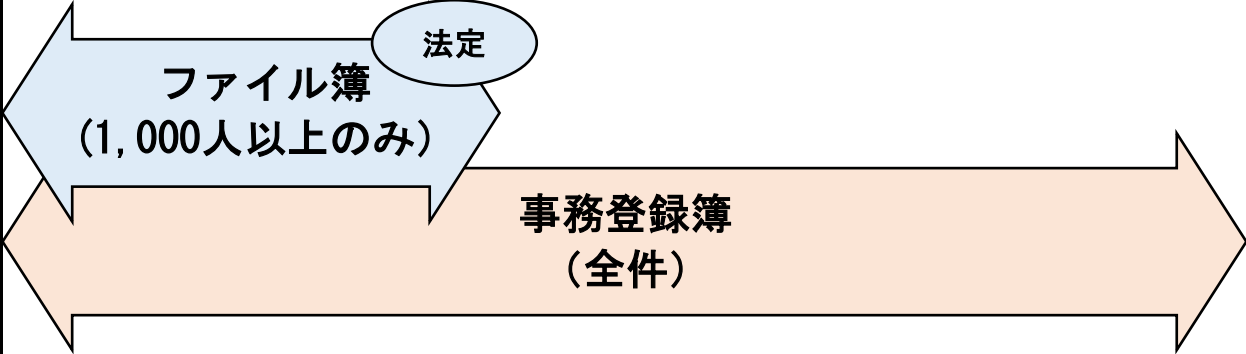
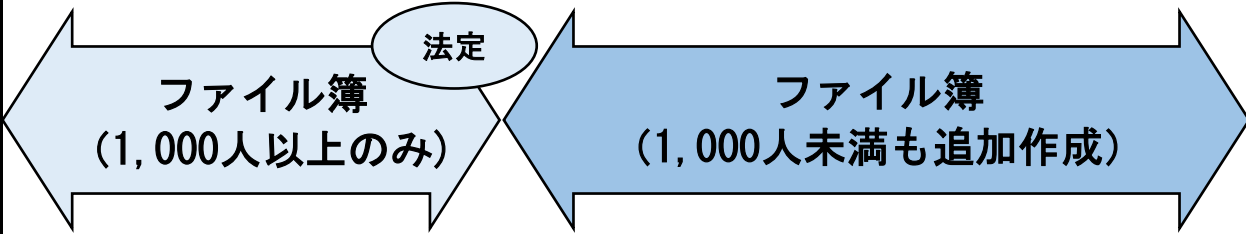



## 個人情報事務登録簿・個人情報ファイル簿の作成に関するメリット・デメリット

項番	概要	メリット	デメリット
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民への説明責任を担保できる。</li> <li>○ 内部チェックが効率的にできる。</li> <li>○ 保有個人情報の内容及び所在を幅広く把握できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本人の数が1,000人以上は、事務登録簿と両方を作成する必要がある。 ※ ただし、重複は全体の10%程度</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民への説明責任を担保できる。</li> <li>○ 内部チェックが効率的にできる。</li> <li>○ 保有個人情報の内容及び所在を幅広く把握できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 非常に多くあると見込まれる1,000人未満のファイル簿を作成する必要があり、事務負担が大きい。</li> <li>○ どのような事務で個人情報が取り扱われるのか分かりづらい。</li> </ul>
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法定の1,000人以上のファイル簿のみの作成のため、事務負担は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民への説明責任を担保しにくい。</li> <li>○ 各事務で取り扱う個人情報の内容、所在、目的等を網羅的に把握できず、内部チェックにも支障がある。</li> </ul>